

# ROBOT

ORANGE CUP 2017

## Title and Catchphrase

災害から身を守れ！

いつでも助ける小さい味方

山上 冬馬

神奈川県立小田原城北工業高等学校



## アイデアのタネ

災害による身の危険を感じたのがきっかけです！

最近、豪雨による土砂災害のニュースや実際に体験した東日本大震災。身の危険を身近に感じるが多くなり、実際に災害による危険が自分自身に降りかかった時生きることができるのか不安になったからです。



## 何をしてくれる？

私の代わりに助けを呼びます！

もし自分が瓦礫・土砂の下敷きになってしまった時、助けを呼ぼうとしても簡単には声が届きません。それを解決するためのロボットです。このロボットは自分の代わりに助けを呼んでくれるのです。

<特徴>

- \*日常生活の時にはアクセサリとして使うことができる
- \*手首につけているので身につけていても邪魔にならない
- \*基本的に身体・身の回りに異常がない限り動かない
- \*心拍数・身の回りの異常が続くと緊急信号を出し、救急などに助けを呼ぶ
- \*電源のON・OFFは先端部分をひねることで切り替える

## 判断する目

レンズ(目)は明暗、酸素濃度で生き埋めになっているか判断する。

## 関節

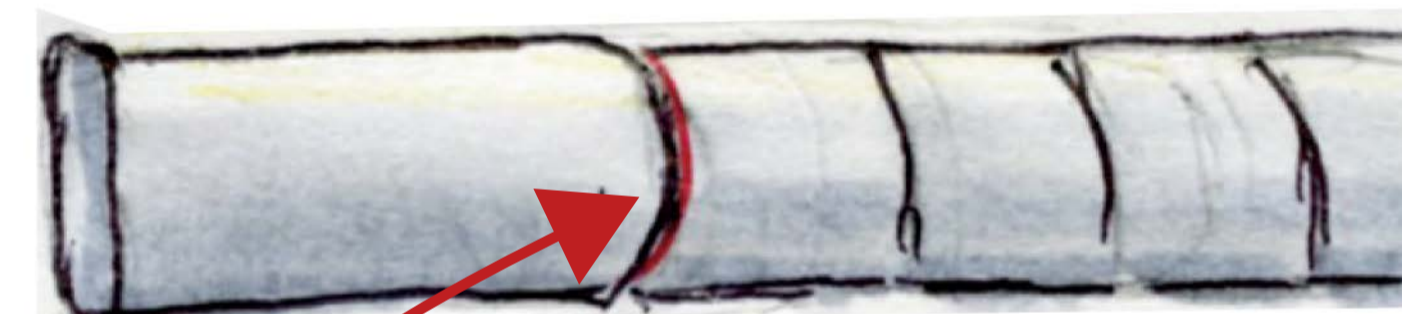
関節がいくつもあるため生き物のような動きができる。

全長 : 17cm  
重さ : 150g  
最大径 : 1.2cm

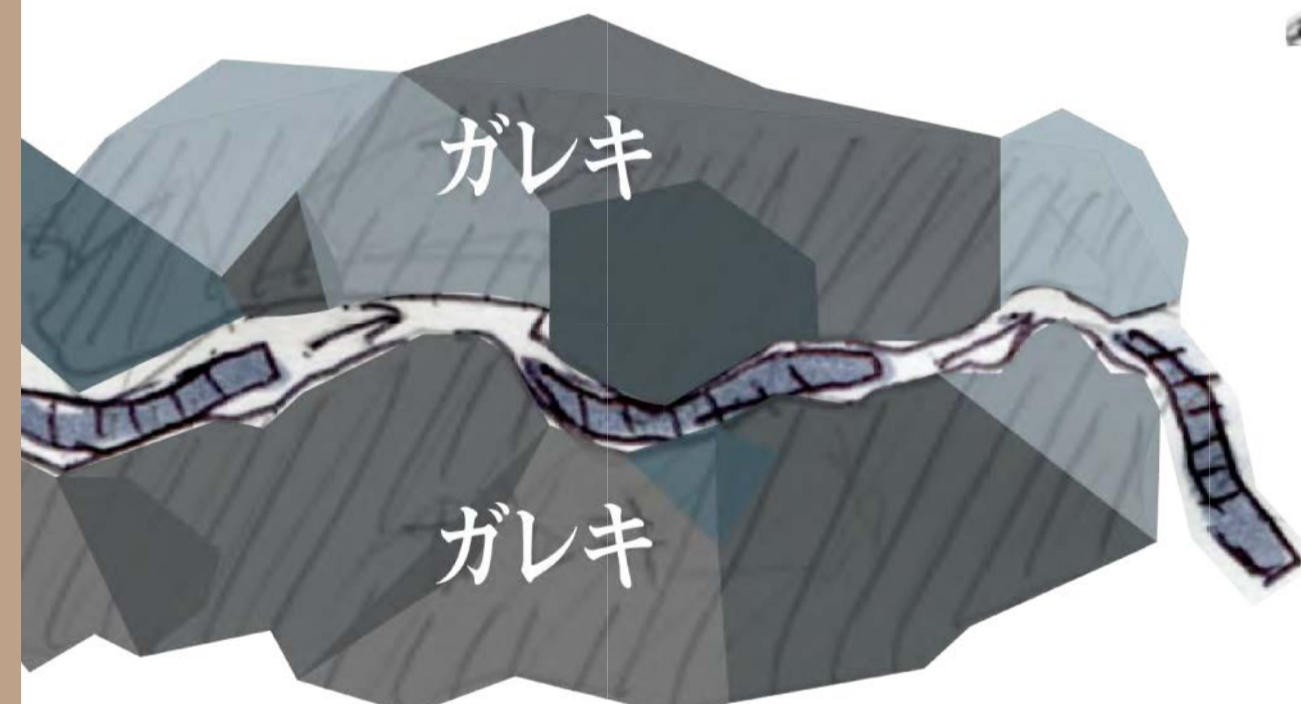
## リングが発光

心拍数を30分ごとに測り異常な心拍数が続けば緊急信号を出す。

生き埋めになってしまったらロボットが明暗、酸素濃度を頼りに外へ出て"緊急信号"を出し、同時に先端が発光、音が出て救助を求める。



ひねってON・OFFを切り替え



細いのですき間を通り外へ出ることができる



ミミズのような動きをして出る



日常生活ではアクセサリとして



拓殖大学  
Takushoku University